

JSMA規格：正誤票

JSMA SD004:2003 ばね用鋼材における非金属介在物の顕微鏡試験方法

区分 (まえがき、本体、 解説、など)	位置 (箇条、図、表、式、 などの番号・記号)	誤	正
本体 3頁	5.2 7行目	…注記するものとする。(改行あり) 顕微鏡の…	…注記する。その場合の顕微鏡の…
本体 4頁	7. 下から2行目	…記録場合に相当)…	…記録する場合に相当)…
解説 6頁 第一章	2. 2行目	…が求めら、	…が求められ、
解説 6頁 第一章	2. 12行目から13行 目	…、弁ばねおよび懸架ばねを中心に 各種ばね材で介在物レベルが測定され ていること。他規格との… (他規格の前の点は句点)	…、弁ばね及び懸架ばねを中心に各 種ばね材で介在物レベルが測定されて いること、他規格との… (他規格の前の点は読点)
解説 8頁 第二章	5.2 7行目	…、30mm ² を超える介在物は、…	…、30 μmを超える介在物は、…
解説 8頁 第二章	5.2 14行目	…読取り制度…	…読取り精度…
附属書 12頁	表枠の下の1行 目	…試料作成方法はだが、…	…試料作成方法だが、…
附属書 13頁	測定要領の表 “方法”列の3番 目の欄	50倍で視野をチャックし、…	50倍で視野をチェックし、…

作成:2011年9月15日